

日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員
上野 正博

なぜ川を遡る

を海で過ごすので遡河性回遊魚といえます。ワカサギなどの親戚で春の風物詩イサザもそうですね。一方、ウナギは稚魚のときに川を遡り、川で大きくなつ

あるおかげで、川にた

6月に入つて解禁になつた由良川筋にはたくさんの釣り人がアユを狙って押しかけています。でも、今年は春の海水温がかなり低かつたために遡上(そじよう)も遅れ気味の様

変つた回遊をするようになったのは、その独特の食性と関係があるのです。この歯が

でも、アユのこ

子で、天然アユはまだ小振り。各地の釣り情報を見てみてもあまりぱつとしないようです。一口に川を遡(さか)る魚といっても、サケやマスは産卵のためには餌も食べずに遡り、卵を産むと死んでしま

す。つまり一生のおよそ半分ずつを海と川で過ごすので、アユのような魚を両側回遊性魚と呼びます。

アユはベトナムからロシアのウラジオストクあたりまでの東アジア一帯にいますが、長江(揚子江)や黄河など大陸の大平原を悠然と流れる大河にはいません。日本のように海の近くまで山が迫り、コケが生える石のある瀬が河口からせいぜい数十キロまでにある川でないとは暮らすことができないのです。



今年、由良川で釣れたアユ

卵を産むと死んでしま

実は両側回遊性の魚

アユはベトナムからロシアのウラジオストクあたりまでの東アジア一帯にいますが、長江(揚子江)や黄河など大陸の大平原を悠然と流れる大河にはいません。日本のように海の近くまで山が迫り、コケが生える石のある瀬が河口からせいぜい数十キロまでにある川でないとは暮らすことができないのです。